

# 団地だより

平成 24 年 1 月 12 日 No.76

(発行) 下大利団地区

(発行者) 山川 拓也

(公民館) ☎ 573-8440

## ◆新年のごあいさつ◆



区 長 山川 拓也

下大利団地の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、東日本の巨大地震・大津波、福島原発災害に始まり、不安定な政局・超円高・タイの水害被害による日本経済活動の低迷等、地域の生活者にとっても大変な1年でした。

一方では、サッカー女子の日本代表「なでしこジャパン」の優勝等、全国民を熱狂の渦に巻き込み、感動と勇気を与えてくれた明るい話題もありました。

下大利団地区では、懸案の団地分断の東線計画や、グラウンド・47棟間道路先の柵の撤去について進展は見られませんでした。東線計画変更対策委員会では先行きを鋭く見つめながら対策を検討してきました。

区では、今年も住民にとって切実な地域の安全・安心や、子ども・高齢者の見守りなどに気配りしながら、日常の諸問題の解決に役員一同、住民目線で真剣に取り組んで参ります。どうか、皆様のご指導・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

## ◆大野城市社会福祉協議会会員ご加入のお願い◆

今、少子高齢化社会を迎え、下大利団地の児童数も小学校の4分の1に減少し、反面、高齢化率は約30%に上がっています。

高齢者福祉対策は行政の対応だけでは追いつけず、地域住民の絆・相互援助活動に大きく期待されています。

市社会福祉協議会は、その様な地域福祉活動のリーダーとして、積極且つ熱心に地域の援助・指導に当たっています。その活動費の一部に充てるため、今年も会員募集(一般会員500円)の依頼がありました。

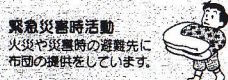
出費多端な折、誠に恐れ入りますが、近く棟委員がお願いに伺いますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



地域福祉活動等の支援に  
福祉バス運行事業  
「ふくしのまちづくり」に欠か  
せない研修や情報、社協  
が行う事業での交通手段に、



ちょっと困ったときに  
弁護士さんに相談…  
各種相談事業  
ふくしなんでも相談  
心配ごと相談  
電話法律相談



緊急災害時活動  
火災や災害時の避難先に  
布団の提供をしています。

## ◆ 祝 成 人 ◆

今年、下大利団地では16名(男性5人・女性11人)の方が新社会人として「成人の日」を迎えました。新成人の方には「ケース入り印鑑」をお贈りし、今後のご発展を祈念して新たな門出をお祝いしました。

今、先行き不透明な変革の時代を迎えていますが、逆境に遭遇しても屈することなく将来を見据え、地道に自己啓発に努められ、幸多き人生を歩まれますようお祈りいたします。

## ◆団地子ども会が地子連30周年記念大会で優勝◆

下大利団地子ども会が去る11月27日(土)、中央コミュニティセンターで行われた中央地区子ども会育成会連合の30周年記念の「ユニカール大会(屋内カーリング)」で優勝しました。

当日は200人を越える親子が参加しましたが、中央地区6区の中で会員数が一番少ない下大利団地区が抜群のチームワークを発揮し、優勝の快挙を果たしました。

団地子ども会では、小・中学生を中心に夏祭りの太鼓打ちや、大文字まつりのおみこしの参加等、色々なお楽しみ会、卒業・進級のお祝い会などの諸活動を楽しく実施しています。

子ども会には随時入会できますので、興味のある方は、お気軽に公民館(☎573-8440)まで、お問い合わせ下さい。

## ◆団地内のバイクの走行◆

下大利団地内はバイクの走行が禁止されています。しかし、アプローチの狭い通路を減速しないで走行し、通行人が手に持っている買い物袋すれすれに運転する人がいて危ないといった不安や苦情が寄せられています。

団地内でのバイクの通行は、下車する事になっていますが、どうしても必要な場合は、通行人に不安や危険を感じさせないように減速し、安全に注意して下さい。

## ◆水城橋西側に横断道路設置の要望◆

御笠川沿いの遊歩道は安全で安心できる歩道としていつも多くの方が、ウォーキングに利用し、また散策を楽しんでいます。

しかし、水城橋西側の橋の上を渡る時や、団地側から周回道路を渡って水城橋歩道に出る場合(逆行も同様)は、車の通行量が多くT字路で橋の見通しも悪く、車が渋滞することもよく見かけます。そのため、T字路の横断に危険を感じる声が多いので、昨年12月に市及び県公安委員会にL字型に横断歩道を設置してもらうように要望しています。